

岡山オルガノン代表者委員会

平成23年度

第1回 平成23年 5月10日(火)

第2回 平成23年12月 6日(火)

第3回 平成24年 3月12日(月)



第1回 岡山オルガノン代表者委員会

- 1 日時 平成23年5月10日(火) 15:00～17:00
- 2 場所 岡山理科大学 21号館1階会議室
- 3 参加者 岡山オルガノン代表者委員
- 4 自己紹介
- 5 報告事項
 - ・平成22年度岡山オルガノン事業報告について (センターより) 【資料1】
 - ・将来構想委員会について (センターより) 【資料2】
 - ・連携評価委員会の日程等について (センターより)
 - ・「大学連携による地域活性化シンポジウム」の開催 (岡山商大より) 【資料3】
 - ・エコナイトの開催について (岡山商大より) 【資料4】
 - ・「遠隔授業におけるFD・SDシンポジウム」の開催 (岡山商大より) 【資料5】
 - ・平成23年度補助金の確定について (センターより) 【資料6】
 - ・最終報告書について(センターより) 【資料7】
- 6 議題案
 - (1)前回議事録案の確認 (センターより)
 - (2)平成23年度岡山オルガノン事業予定について (センターより) 【資料8】
 - (3)岡山オルガノン事業の基本方針について (センターより) 【資料9】
- 7 その他

8 岡山オルガノン代表者委員会委員および出席者一覧

大学名	所属・職名	氏名	出欠
岡山大学	大学院医歯薬学総合研究科教授、生涯学習・教育連携部門長	三好伸一	欠
岡山県立大学	全学教育研究機構長、情報工学部教授	桂宥子	欠
	事務局総務課企画広報班・主事	吉田真智子	代理
岡山学院大学	人間生活学部教授	友近健一	欠
岡山商科大学	副学長、産学官連携センター長	大崎紘一	出
岡山理科大学	情報科学科特担教授、学外連携推進室副室長	木村宏	出
	建築学科教授、情報処理センター長	竹内渉	欠
川崎医科大学	学長補佐、衛生学教授	大槻剛巳	出
川崎医療福祉大学	学長補佐	金光義弘	欠
環太平洋大学	副学長	中原忠男	出
吉備国際大学	事務局長	伊藤明	欠
	環境経営学部長、教授	井勝久喜	欠
	保健医療福祉学部長	平上二九三	代理
倉敷芸術科学大学	教育研究支援センター所長	小山悦司	出
	教育研究支援センター次長	窪津慎二	出
くらしき作陽大学	学生部長	加藤充美	出
山陽学園大学	総合人間学部生活心理学科教授	澁谷俊彦	出
就実大学	人文科学部教授	土井通弘	欠
	薬学部教授	鈴木利典	代理
中国学園大学	情報ビジネス学科教授、地域連携センター所長	飯田哲司	出
ノートルダム清心女子大学	人間生活学部教授	加藤正春	欠
	事務部長	鈴木芳弘	代理
大学教育連携センター	コーディネーター	北村光一	出
	e-Learning 専門スタッフ	岡戸真理子	出
	事務補佐員	大本勝子	出
	事務補佐員	本田絢也	出
岡山大学オフィス	コーディネーター	遠山和大	欠
	事務補佐員	小林祐也	欠
岡山商科大学オフィス	コーディネーター	矢延里織	出
	事務補佐員	長内路子	出
中国学園大学オフィス	コーディネーター	桑田朋美	出
	事務補佐員	永井智子	欠

第1回岡山オルガノン代表者委員会 議事録（案）

日 時：平成23年5月10日（火）15：00～17：00

場 所：岡山理科大学 第21号館 1階 会議室

出席者：4ページ別紙参照

議題案：

1. 委員の自己紹介

出席者による自己紹介を行った。

2. 前回議事録（案）の確認

前回議事録（案）の確認がなされ、原案どおり了承された。

3. 岡山オルガノン事業の基本方針について

木村センター長より、「資料9」に基づき説明がなされ、了承された。

- ・「資料9」は、平成22年度連携評価委員会委員に評価いただいた内容をまとめた評価報告書（案）である。
- ・連携取組評価結果の分析について、赤字で記載しているのは平成21年度評価報告書の改善要求項目で、平成22年度の評価内容から判断して良好評価と改善要求に振り分けている。
- ・平成22年度評価報告書の改善要求に基づき、「平成23年度補助事業実施方針」を策定した。今年度はこの実施方針を重点項目に置いて事業を実施していきたいと考えている。内容について何かご意見があればいただきたい。
- ・飯田委員より、大学については各大学でキャリア担当の先生がいらっしゃるのので堂々と広報活動ができずに対応に苦慮している段階ではあるが、高校については多くの依頼があり高い評価をいただいている。原案で改善要求に挙げられている「実践的キャリア指導チーム力の強化」および「キャリア教育を中心とした高大連携」については、高い評価を得ており、良好評価の方に入ってよいと考えているとの意見がなされ、木村センター長より、確かに社会人基礎力養成についてはなかなか難しい側面があると感じている。高校まで範囲を拡大していくようなことも今後の方向に取り入れ、当初の計画とは違った形であっても、新しい姿を模索して発展してほしいとの発言がなされた。
- ・大崎岡山商科大学オフィス室長より、岡山商科大学オフィスではテレビ会議システムを利用したライブ型授業を所管しているが、岡山商科大学では他大学の科目を10単位しかとれない等の制限があり受講者数が伸びない。他大学も同様の問題を抱えていると考えられるので、単位互換の制度について調査を行って検討すべきであると考えている。配信科目の充実化については、各大学へ来年度の配信科目の提供依頼について検討中である。テレビ会議システムの積極的な活用としては、非常勤として他大学へ授業に行っている先生にテレビ会議システムを利用して授業をしてもらうことも検討している。単位互換教育にとらわれず様々な利用方法を模索していきたいとの発言がなされた。

4. 平成23年度岡山オルガノン事業予定について

木村センター長より、「資料8」に基づき説明がなされ、了承された。

- ・事業報告会または連携評価委員会の後に、オルガノン事業に協力いただいた方々、特に単位互換教育に携わっていただいた先生方を中心に懇親会を開きたいと考えている。
- ・今年度については、できる限りこのスケジュールに従って活動していくので、学内でのPRおよび積極的なご参加をお願いしたい。

5. 平成22年度岡山オルガノン事業報告について

北村コーディネーターより、「資料1」に基づき報告がなされた。

- ・平成22年度補助事業の内容について、「資料1」のとおり実績と成果という形でまとめて文部科学省に提出した。

6. 将来構想委員会について

木村センター長より、「資料2」に基づき報告がなされた。

- ・「資料2-1」で青字で記載されているのは、今年度交代で新たに委員になられた方々である。
- ・「資料2-2」は、平成24年度以降、岡山オルガノン事業を大学コンソーシアム岡山に継承するにあたり、オルガノンの事業を大学コンソーシアム岡山の3事業部に振り分けた統合案である。
- ・「資料2-3」は、オルガノン事業を大学コンソーシアム岡山に継承するにあたり、具体的な費用負担計画を示している。
- ・①は現在の大学コンソーシアム岡山の会費収入だが、支出が収入を上回っているため、収支バランスがとれた形にするための会費の値上げ案が③の会費部分である。
- ・オルガノン事業を継承するために、保守費等の経費負担と最低でも1名の職員雇用が必要であると考えられるため、期間限定で、現在のところ5年間ぐらいをめどに、会費とは別の事業費という形で年間500万～600万円程度の費用を連携校に負担いただく方向で話を進めている。
- ・オルガノンの代表者委員会および9月に開催される大学コンソーシアム岡山の代表者会議での決定に向けて、現在具体的な継承計画の作成を進めている。

7. 「大学連携による地域活性化シンポジウム」の開催

大崎岡山商科大学オフィス室長より、「資料3」に基づき報告がなされた。

- ・テーマは「学生活動による大学連携と子どもを中心とした地域活性化」、日時は6月26日(日)13:00～16:10、会場は岡山商科大学学生会館1階および2階で開催する。
- ・第2分科会は学生会館1階で開催し、「日ようび子ども大学」ということで8大学から子供向けのテーマでブース出展していただく。スタンプラリーの景品として大学グッズを各大学から提供いただき準備することができた。

北村コーディネーターより、「資料3」に基づき報告がなされた。

- ・第1分科会は学生会館2階で開催し、「大学における活動と大学間連携」というテーマで学生活動の取組報告を中心に行う。ぜひ学生の参加を呼びかけてほしい。

8. エコナイトの開催について

大崎岡山商科大学オフィス室長より、「資料4」に基づき報告がなされた。

- ・エコナイトのテーマは「がんばろう日本「エコ活動」と「今大学でできること」（仮称）」とし、7月7日前後に各大学で実施する。今年度は岡山県、岡山市等行政団体と協働で実施する計画を検討中である。
- ・岡山県から節電活動の協力依頼があり、クールビズの早期実施や不要な家電品の電源を切る等の節電活動をエコナイトの一環として連携校で協力いただけないか。
- ・ライトダウンとマイ・カー乗るまあ day について、エコ等のイベントを実施されない大学もぜひご参加いただきたいとの依頼がなされた。
- ・岡山市から「七夕ライトダウン in おかやま 2010」を開催するとの連絡があった。さん太ホール前広場や岡山駅東口広場でキャンペーンイベントを実施される予定で、そちらに参加できないか検討中である。

9. 「遠隔授業におけるFD・SDシンポジウム」の開催

大崎岡山商科大学オフィス室長より、「資料5」に基づき報告がなされた。

- ・日程は10月30日（日）、会場は岡山理科大学理大ホール、テーマは「対面、双方向ライブ、VOD 授業による教育に関するFD・SDシンポジウム（仮称）」で、企画の詳細を現在検討している段階である。

10. 平成23年度補助金の確定について

木村センター長より、「資料6」に基づき報告がなされた。

- ・今年度の補助金総額が57,262千円で決定した。適切な予算執行をお願いしたいとの依頼がなされた。

11. 最終報告書について

北村コーディネーターより、「資料7」に基づき報告がなされた。

- ・最終報告書の企画について、時系列での記載方法等も検討したが、中間報告書と同様な形式での記載方法を現在検討している。まだ検討段階であるので、なにかあればぜひご意見をいただきたい。詳細が決定次第、センターより掲載記事の執筆依頼をするので協力いただきたいとの依頼がなされた。

出席者一覧

大学名	所属・職名	氏名	出欠
岡山大学	大学院医歯薬学総合研究科教授、生涯学習・教育連携部門長	三好伸一	欠
岡山県立大学	全学教育研究機構長、情報工学部教授	桂宥子	欠
	事務局総務課企画広報班・主事	吉田真智子	代理
岡山学院大学	人間生活学部教授	友近健一	欠
岡山商科大学	副学長、産学官連携センター長	大崎紘一	出
岡山理科大学	情報科学科特担教授、学外連携推進室副室長	木村宏	出
	建築学科教授、情報処理センター長	竹内渉	欠
川崎医科大学	学長補佐、衛生学教授	大槻剛巳	出
川崎医療福祉大学	学長補佐	金光義弘	欠
環太平洋大学	副学長	中原忠男	出
吉備国際大学	事務局長	伊藤明	欠
	環境経営学部長、教授	井勝久喜	欠
	保健医療福祉学部長	平上二九三	代理
倉敷芸術科学大学	教育研究支援センター所長	小山悦司	出
	教育研究支援センター次長	窪津慎二	出
	庶務部参事	田辺昇	出
くらしき作陽大学	学生部長	加藤充美	出
山陽学園大学	総合人間学部生活心理学科教授	澁谷俊彦	出
就実大学	人文科学部教授	土井通弘	欠
	薬学部教授	鈴木利典	代理
中国学園大学	情報ビジネス学科教授、地域連携センター所長	飯田哲司	出
ノートルダム清心女子大学	人間生活学部教授	加藤正春	欠
	事務部長	鈴木芳弘	代理
大学教育連携センター	コーディネーター	北村光一	出
	e-Learning 専門スタッフ	岡戸真理子	出
	事務補佐員	大本勝子	出
	事務補佐員	本田絢也	出
岡山大学オフィス	コーディネーター	遠山和大	欠
	事務補佐員	小林祐也	欠
岡山商科大学オフィス	コーディネーター	矢延里織	出
	事務補佐員	長内路子	欠
中国学園大学オフィス	コーディネーター	桑田朋美	出
	事務補佐員	永井智子	欠



第2回 岡山オルガノン代表者委員会

1 日 時 平成23年12月6日(火) 13:00~14:30

2 場 所 岡山商科大学 井尻記念館 4階 多目的ホール

3 参加者 岡山オルガノン代表者委員会委員

4 報告事項

(1)平成23年度実施事業について

- ・大学連携による地域活性化シンポジウム.....岡山商科大学オフィス
- ・エコナイト.....岡山商科大学オフィス
- ・共同SD研修会.....岡山大学オフィス
- ・FD研修事業 i *See2011.....岡山大学オフィス
- ・共同FD・SD実施報告会.....岡山商科大学オフィス
- ・学生参画によるキャリア教育担当者意見交換会.....中国学園大学オフィス
- ・ICT活用教材作成講習会.....大学教育連携センター
- ・岡山オルガノン事業報告会.....大学教育連携センター
- ・実践マナー&ビジネスマインド短期集中講座.....中国学園大学オフィス

(2)将来構想委員会について.....大学教育連携センター

(3)遠隔教育について.....岡山商科大学オフィス

5 議題案

(1)大学コンソーシアム岡山へのオルガノン事業の継承

- ・経過報告：将来構想委員会
大学コンソーシアム岡山企画会議
大学コンソーシアム岡山代表者会議

- ・事業継承方法
- ・平成24年度以降の事業展開

(2)今後の事業

- ・社会人基礎力養成シンポジウム
- ・第3回岡山オルガノン連携評価委員会

(3)事業報告書について

(4)補助金執行について

(5)平成24年度単位互換科目(ライブ・VOD)および履修生募集について

(6)その他

6 岡山オルガノン代表者委員会委員および出席者一覧

大学名	所属・職名	氏名	出欠
岡山大学	大学院医歯薬学総合研究科教授、生涯学習・教育連携部門長	三好伸一	欠
	キャリア開発センター教授	三浦孝仁	出
	学務部学務企画課長	増間芳雄	出
	学務部学務企画課	野曾康史	出
岡山県立大学	全学教育研究機構長、情報工学部教授	桂宥子	欠
	企画広報班長	山下祥嗣	出
岡山学院大学	人間生活学部教授	友近健一	出
岡山商科大学	副学長、産学官連携センター長	大崎紘一	出
	産学官連携センター主任	中村裕	出
岡山理科大学	情報科学科特担教授、学外連携推進室副室長	木村宏	出
	建築学科教授、情報処理センター長	竹内渉	欠
川崎医科大学	学長補佐、衛生学教授	大槻剛巳	出
川崎医療福祉大学	学長補佐	金光義弘	欠
	事務部庶務課長	坪井裕子	出
環太平洋大学	副学長	中原忠男	出
吉備国際大学	事務局長	伊藤明	出
	環境経営学部長、教授	井勝久喜	出
倉敷芸術科学大学	教育研究支援センター所長	小山悦司	出
くらしき作陽大学	学生部長	加藤充美	出
山陽学園大学	総合人間学部生活心理学科教授	澁谷俊彦	出
就実大学	人文科学部教授	土井通弘	出
中国学園大学	情報ビジネス学科教授、地域連携センター所長	飯田哲司	出
ノートルダム清心女子大学	人間生活学部教授	加藤正春	欠
	事務部長	鈴木芳弘	出
大学教育連携センター	コーディネーター	北村光一	出
	e-Learning 専門スタッフ	岡戸真理子	出
	事務補佐員	大本勝子	出
	事務補佐員	本田絢也	出
岡山大学オフィス	コーディネーター	遠山和大	欠
	事務補佐員	小林祐也	出
岡山商科大学オフィス	コーディネーター	矢延里織	出
	事務補佐員	長内路子	欠
中国学園大学オフィス	コーディネーター	桑田朋美	出
	事務補佐員	永井智子	出

第2回岡山オルガノン代表者委員会 議事録（案）

日 時：平成23年12月6日（火）13:00～14:30

場 所：岡山商科大学 井尻記念館 4階 多目的ホール

出席者：5 ページ別紙参照

議題案：

1. 前回議事録（案）の確認

前回議事録（案）の確認がなされ、原案どおり了承された。

2. 平成23年度実施事業について

大崎岡山商科大学オフィス室長より、配布資料に基づき報告がなされた。

- ・平成23年6月26日（日）に岡山商科大学にて「大学連携による地域活性化シンポジウム」を開催し、575名の参加があった。連携大学間の学生交流及び大学と地域の方々との繋がりを持ち、連携を深めることにより地域との関係に立って大学の教育・研究への取り組みを認知してもらうことができた。
- ・平成23年7月7日（木）を中心に「エコナイト」を開催した。15大学で足並みをそろえて環境教育の実践的活動を実施することと岡山県、岡山市等行政団体、企業とリンクして学生間の交流活動推進と地域への拡充を目的とし、学内消灯や自動車通勤の自粛、その他各大学でイベント行い、意義ある活動を行うことができた。
- ・平成23年10月30日（日）に岡山理科大学にて「大学連携による遠隔授業とFD・SDに関するシンポジウム」を開催し、116名の参加があった。遠隔授業への理解を深めることができ、参加者の今後の大学教育に対する期待と示唆を得ることができた。

三浦岡山大学教授より、配布資料に基づき報告がなされた。

- ・平成23年8月29日（月）に岡山大学にて共同SD研修会「クレイマー対策」を実施した。当初予定人数を大きく上回り、138名という連携校教職員の参加があった。
- ・平成23年9月10日（土）から11日（日）に、岡山大学にて「i*see2011」を開催した。もとは岡山大学のイベントであったが、オルガノンと共催することで連携校からの参加者も目立つようになり、全国27大学107名の参加があった。

飯田中国学園大学オフィス代表より、配布資料に基づき報告がなされた。

- ・実践的体験型プログラムとして、大学、高校および企業にて計177講座を実施した。
- ・平成23年9月30日（金）に中国学園大学にて社会人基礎力養成「ワークショップ」を実施し、20名の参加があった。
- ・平成23年11月27日（日）に中国学園大学にて、一日集中講座（3講義）として「ビジネスマインド集中講座」を実施し、延べ63名の参加があった。

北村コーディネーターより、「資料1」に基づき報告がなされた。

- ・平成23年11月10日（木）に岡山理科大学にて「ICT活用教材作成講習会」を開催し、連携校の教職員28名の参加があった。

- ・平成 23 年 12 月 3 日（土）に岡山理科大学にて「岡山オルガノン事業報告会」を開催し、110 名の参加があった。本事業における今後の課題が明確となり、将来へさらに深化させた事業展開を実施するための 1 つの大きな方向性を見出すことができた。

3. 将来構想委員会について

木村センター長より、「資料 2」に基づき報告がなされた。

- ・委員会は、平成 22 年 8 月から平成 23 年 11 月まで計 8 回実施し、オルガノン事業における補助期間終了後の展開方策および財政的措置、その他目的を達成するために必要な事項に関して協議し、大学コンソーシアム岡山への提案内容をまとめることができた。

4. 遠隔教育について

大崎岡山商科大学オフィス室長より、配布資料に基づき報告がなされた。

- ・双方向ライブ型遠隔講義について、平成 23 年度は 14 科目配信、27 名の学生が受講した。
- ・11 月 25 日（金）に双方向コンテンツ委員会を開催した。その際、大学コンソーシアム岡山の単位互換科目として業務の一元化をなるべく早期に行ってほしいとの意見が多く、今後の業務一元化について規程類等の改訂問題も含め、検討を行っていく。

木村センター長より、配布資料に基づき報告がなされた。

- ・VOD 型遠隔講義について、平成 22 年度前期に VOD の撮影を行い、後期より授業を開始した。平成 23 年度は 18 科目配信、413 名の学生が受講した。
- ・大崎岡山商科大学オフィス室長より、VOD 科目の単位修得率はどれぐらいかとの質問があり、木村センター長より、確かな数字は不明であるがライブ科目の方が単位修得率は高い、最終的な報告をまとめる際にその統計データも必要であると思うので連携校へ確認するとの回答がなされた。

5. 大学コンソーシアム岡山へのオルガノン事業の継承

木村センター長より、「資料 3」に基づき説明がなされ、原案の通り、了承された。

- ・平成 24 年度以降の組織として、国費を使用して「オルガノンの構築」事業を展開してきたこと、美作大学の関係もあり、オルガノンという名称は何らかの形で残すべきだと考えており、代表校である岡山理科大学にて検討中である。
- ・大学コンソーシアム岡山は、各事業部に委員会を設置し、委員会で活動の企画、実施を行っていく方向で検討している。オルガノンの学士課程教育連携委員会および共同 FD・SD 委員会を単位互換委員会へ、オルガノンの e-Learning 運営委員会および双方向コンテンツ委員会を対面・遠隔教育委員会へ、オルガノンの地域活性化委員会を地域貢献委員会へ統合しようと考えている。
- ・オルガノン連携 15 大学から、オルガノン事業継承のための事業費として「一律@15 万円+学生数による事業費(@50 円)」、総額 402 万 3,000 円を負担いただく予定である。
- ・事業費の内訳は、遠隔教育関係として遠隔教育担当者の人件費を 277 万 2,000 円、VOD コンテンツを作成するための補助員の人件費を 16 万 8,000 円、印刷製本費 45 万円、消耗品費 5 万円を計上している。FD・SD 活動についてはシンポジウム継続のための経費として 18 万円を、学生交流事業についてはシンポジウム継続のための経費として 6 万円を、地域活性化活動については日ようび子ども大学の経費として 25 万 9,200 円、エコナイト

に 10 万円を計上している。また、オルガノン HP の更新料および WEB サーバ等使用料として 3 万 3,800 円を計上している。

- ・事業費とは別に、遠隔教育システム維持のための経費として、各大学で年額 34 万 8,384 円の負担が必要になる。フレッツ・グループについて、現在は倉敷芸術科学大学より 2 拠点分の金額をお支払いいただいているが、来年度から 1 拠点に変更されるため、他大学の金額は今年度負担分より多少増額になっている。
- ・中原委員より、オルガノンで購入した機器の所有責任はどうなるのかとの質問がなされ、木村センター長より、各大学で購入した備品については各大学の責任で管理をお願いしたい。ただし MCU については、岡山理科大学の備品として購入しているが、連携校全体で使用するため保守費用を連携校で分担していただきたいとの回答がなされた。
- ・中原委員より、オルガノン事業以外の新たな目的で活用してもいいのかとの質問がなされ、木村センター長より、補助期間終了後に新しい用途で活用していくのは問題ないと考えているとの回答がなされた。
- ・中原委員より、向こう 3 年間はこの経費で維持するとして、それ以降はどうなるのかとの質問がなされ、木村センター長より、向こう 3 年間はこれだけの予算を計画しているが、平成 27 年度以降については再度大学コンソーシアム岡山で審議いただきたいと考えているとの回答がなされた。

6. 今後の事業

飯田中国学園大学オフィス代表より、配布資料に基づき報告がなされた。

- ・平成 23 年 12 月 11 日（日）に社会人基礎力養成シンポジウムを開催する予定である。各大学で学生への広報をお願いしたい。

北村コーディネーターより、「資料 4」に基づき説明がなされ、了承された。

- ・平成 24 年 1 月 20 日（金）14 時 30 分から 16 時 30 分、岡山理科大学にて第 3 回岡山オルガノン連携評価委員会を開催する。
- ・進行方法について、まず木村センター長より本連携取組の事業説明を行い、次にセンターおよび各オフィスから 15 分程度でプレゼンテーション形式の報告を行う。その後、事業評価に関する意見交換の時間を 25 分程度とり、最後に木村センター長より平成 24 年度以降の将来構想について説明を行う予定である。

7. 事業報告書について

北村コーディネーターより、「資料 5」に基づき説明がなされ、了承された。

- ・執筆いただいた原稿の修正・確認依頼をセンターよりメールにて連携校へ連絡するので、その確認作業を平成 24 年 1 月 13 日（金）までをお願いしたい。
- ・冊子については平成 23 年 9 月 30 日までの事業内容を掲載し、それ以降の事業報告については CD に追加掲載する予定である。
- ・冊子の完成は 2 月中旬、CD の完成は 3 月中旬を考えている。

8. 補助金執行について

北村コーディネーターより、「資料 6」に基づき説明がなされ、了承された。

- ・1 月中旬に補助金決算準備に関する依頼メールをお送りするので、連携校にて実績報告

書の作成準備をお願いしたい。また、「資料6-2、6-3」については、ご一読いただき、今年度分の実績報告書類作成に向けて準備いただきたい。

- ・実績報告書の提出締め切りは、連携校については2月15日（水）を、オフィスについては3月15日（木）を考えている。

9. 平成24年度単位互換科目（ライブ・VOD）および履修生募集について

木村センター長より、「資料7」に基づき説明がなされた。

- ・遠隔教育の事務処理について、来年度はオルガノンと大学コンソーシアム岡山の2つの組織で別々に行っていかなざるを得ないだろう。平成25年度以降は一元化を図る予定である。なお、オルガノンの単位互換科目については近々提供依頼を行うので、ご協力をお願いしたい。

出席者一覧

大学名	所属・職名	氏名	出欠
岡山大学	大学院医歯薬学総合研究科教授、生涯学習・教育連携部門長	三好伸一	欠
	キャリア開発センター教授	三浦孝仁	出
	学務部学務企画課長	増間芳雄	出
	学務部学務企画課	野曾康史	出
岡山県立大学	全学教育研究機構長、情報工学部教授	桂宥子	欠
	企画広報班長	山下祥嗣	出
岡山学院大学	人間生活学部教授	友近健一	出
岡山商科大学	副学長、産学官連携センター長	大崎紘一	出
	産学官連携センター主任	中村裕	出
岡山理科大学	情報科学科特担教授、学外連携推進室副室長	木村宏	出
	建築学科教授、情報処理センター長	竹内渉	欠
川崎医科大学	学長補佐、衛生学教授	大槻剛巳	出
川崎医療福祉大学	学長補佐	金光義弘	欠
	事務部庶務課長	坪井裕子	出
環太平洋大学	副学長	中原忠男	出
吉備国際大学	事務局長	伊藤明	出
	環境経営学部長、教授	井勝久喜	出
倉敷芸術科学大学	教育研究支援センター所長	小山悦司	出
くらしき作陽大学	学生部長	加藤充美	出
山陽学園大学	総合人間学部生活心理学科教授	澁谷俊彦	出
就実大学	人文科学部教授	土井通弘	出
中国学園大学	情報ビジネス学科教授、地域連携センター所長	飯田哲司	出
ノートルダム清心女子大学	人間生活学部教授	加藤正春	欠
	事務部長	鈴木芳弘	出
大学教育連携センター	コーディネーター	北村光一	出
	e-Learning 専門スタッフ	岡戸真理子	出
	事務補佐員	大本勝子	出
	事務補佐員	本田絢也	出
岡山大学オフィス	コーディネーター	遠山和大	欠
	事務補佐員	小林祐也	出
岡山商科大学オフィス	コーディネーター	矢延里織	出
	事務補佐員	長内路子	欠
中国学園大学オフィス	コーディネーター	桑田朋美	出
	事務補佐員	永井智子	出



第3回 岡山オルガノン代表者委員会

1 日 時 平成24年3月12日(月) 15:00~16:30

2 場 所 岡山理科大学 50周年記念館 3階会議室

3 参加者 岡山オルガノン代表者委員会委員

4 報告事項

(1) 第3回連携評価委員会について・・・・・・・・・・大学教育連携センター

(2) 各オフィスより

- ・平成24年度単位互換科目(ライブ・VOD)および履修生募集について・・岡大オフィス
- ・山陽新聞広告につきまして・・・・・・・・・・商大オフィス
- ・実践的体験型プログラムの実施報告(追加分及び来年度分含む)・・中国学園大学オフィス

5 議題案

(1)大学コンソーシアム岡山へのオルガノン事業の継承

- ・経過報告：将来構想委員会
大学コンソーシアム岡山企画会議
大学コンソーシアム岡山代表者会議

- ・事業継承方法
- ・平成24年度以降の事業展開

(2)著作権関連規程等について

その他

- ・岡山オルガノン事業終了後の連絡体制等について・・・・・・・・岡山理科大学学外連携より

6 岡山オルガノン代表者委員会委員および出席者一覧

大学名	所属・職名	氏名	出欠
岡山大学	大学院医歯薬学総合研究科教授、生涯学習・教育連携部門長	三好伸一	遅
	キャリア開発センター教授	三浦孝仁	欠
	学務部学務企画課長	増間芳雄	欠
	学務部学務企画課	野曾康史	欠
岡山県立大学	全学教育研究機構長、情報工学部教授	桂宥子	欠
	企画広報班長	山下祥嗣	出
岡山学院大学	人間生活学部教授	友近健一	出
岡山商科大学	副学長、産学官連携センター長	大崎紘一	出
	産学官連携センター主任	中村裕	出
岡山理科大学	情報科学科特担教授、学外連携推進室副室長	木村宏	出
	建築学科教授、情報処理センター長	竹内渉	欠
川崎医科大学	学長補佐、衛生学教授	大槻剛巳	欠
	自然科学教授	虫明基	出
川崎医療福祉大学	学長補佐	金光義弘	出
	事務部庶務課長	坪井裕子	欠
環太平洋大学	副学長	中原忠男	
吉備国際大学	事務局長	伊藤明	出
	環境経営学部長、教授	井勝久喜	出
倉敷芸術科学大学	教育研究支援センター所長	小山悦司	遅
くらしき作陽大学	学生部長	加藤充美	出
山陽学園大学	総合人間学部生活心理学科教授	澁谷俊彦	欠
就実大学	人文科学部教授	土井通弘	
中国学園大学	情報ビジネス学科教授、地域連携センター所長	飯田哲司	欠
ノートルダム清心女子大学	人間生活学部教授	加藤正春	出
	事務部長	鈴木芳弘	出
大学教育連携センター	コーディネーター	北村光一	出
	e-Learning 専門スタッフ	岡戸真理子	出
	事務補佐員	大本勝子	出
	事務補佐員	本田絢也	出
岡山大学オフィス	コーディネーター	遠山和大	欠
	事務補佐員	小林祐也	出
岡山商科大学オフィス	コーディネーター	矢延里織	出
	事務補佐員	長内路子	出
中国学園大学オフィス	コーディネーター	桑田朋美	欠
	事務補佐員	永井智子	出
	地域連携センター	寺田悟	出